

子どもにとっての最善の利益

「保育」とは「教育」と「養護」の二つの要素で成り立っていて、養護という部分があるので福祉の分野となっています。

福祉の目的とは幸福の実現です。

つまり、子どもの幸福の実現が保育園やこども園などの児童福祉施設としての役割といえます。

福祉における幸福とは人間一人ひとりが充実して生きていけるということです。

充実して生きているとはその人がその人らしく、その人の能力を使い、いきいきと生きること(ウェルビーイング)です。

具体的には自律して意欲的に能力を獲得し周りの関係も充実し、周りの資源をうまく活用し自己実現を果たし社会にも貢献、還元していける生活のことです。

子どもがこのことを実現するための周りの大人の適切な関わりが必要です。

関わり方としては「させる、してあげる、与える(施し)」という働きかけよりも「自分でできるようにその人に寄り添う働きかけ」の方がその成果が大きいということがわかっています。

「させる、してあげる関わり方」というのは例えば、大人が先導して子どもをグイグイ引っ張って歩ませる関わり方です。この場合、子どもの意思や気持ちを大切にすることは難しいです。結果的には、子どもの意思とは関係なく大人がさせたいものをさせるという結果にもなりかねません。

一方、「自分でできるように寄り添う関わり方」とは、子どもが自ら歩もうとする力を大切に、子どもの後ろからさりげなく寄り添いながら子どもが歩もうとする力をサポートする関わり方です。これだと子どもの意思を尊重することにより子どもが主体的に歩み、大人もゆとりをもってサポートすることができます。

また、大人の姿として大切なことは、子どもに人としての見本になるような姿を見せるということです。これは前に立って子どもをグイグイ引っ張っていくということではなく、大人が生きている生き方そのままだが子どもの見本になるような生き方です。

昔から「子どもは親の背中を見て育つ」という言葉がありますが、大人である私たちがそのような生き方ができているか改めて考える必要があると思います。



つまり、大人が子どもの見本になるような大人の姿で適切に子どもに関わってあげることが子どもの幸福へとつながっていくということです。

ですから園では保育者が大人としての見本となり、適切な子どもとの関わりがより高いレベルで行えるように、園内外の研修などを通して日々研鑽し、切磋琢磨して子どもの育ちをサポートしています。



認定こども園

やまざきゆめの森こども園

えんだより

2月

「お正月」に「初釜」など、日本の文化に触れた1月。凧あげや羽根つき、双六など、お正月ならではの伝承遊びにも沢山興味を持ち取り組みました。ゆめ組ではコマ回しが盛んで、両手の平を使って回すもみコマや、ひもを使う投げコマ、はたきを使うたたきコマなど、いろんな種類のコマに挑戦し、出来ない悔しさや出来た時の嬉しさを味わっている姿がみられます。

2月は生活発表会に向け練習も深まっています。一人ひとりの成長を確かめながら、みんなでやり遂げる喜びを共有していきたいです。

まだまだインフルエンザ等、感染症には注意が必要な季節ですので、体調に気を付けて発表会の準備を進めていきたいと思っております。ご協力よろしくお願いたします。

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3 節分	4  ようとくくん・1	5 城山小・石津小 入学説明会	6 東江小 入学説明会 Refresh ヨガ	7	8	9
10 体育あそび	11 建国記念の日	12	13	14 避難訓練	15	16
17 生活発表会 総練習	18	19	20 総練習②	21	22 生活発表会	23 天皇誕生日
24 振替休日	25 身体測定	26	27	28 Refresh ヨガ	29	

※体育あそび…体操服を着用して登園して下さい。

お知らせ・おねがい

生活発表会…22日(土)朝9時まで親子で登園してください。たくさんの方がご来園されますので、近隣のご迷惑にならないよう駐車していただきますよう、皆様ご協力お願い致します。

※総練習の日はなるべく休まず登園してください。(体調不良を除く)

欠席・遅刻の連絡について…都合により欠席・遅刻される場合は必ず普段の登園時間までにご連絡ください。理由も詳細にお願いします。医療機関受診後、インフルエンザ等感染症と診断された場合は、分かり次第園までご報告ください。